

PTA活動紹介		高P連受付番号		3
PTA(学校)名	愛知県立大府特別支援学校PTA		部門	3
活動テーマ	本校PTA活動の取組について			
キーワード	栗きんとんづくり	プラ板づくり	地域とのつながりについて	
開催日	2017/12/12、2018／9／27、2018/10/26			
場 所	本校			
時 間	午後1時30分～午後3時20分まで			
参加者	PTA会員(保護者、教員)15～20名程度			
趣旨	1. PTA会員が学び合い、資質向上を図る。 2 PTA会員相互の親睦を深める。			
活動ポイント	・魅力ある研修会 ・気軽に参加できる雰囲気づくり			
主体委員会名・講師名等	PTA役員、本校教員、NPO法人「わかち・つむぎあい」 松下 直美氏(ホスピタル、クラウン)			

大府特別支援学校は、愛知県唯一の病弱特別支援学校です。本校には自宅通学生と隣接のあいち小児保健医療総合センターからの入院生が通学しています。本校の他に、愛知県内の3病院で施設内教育、病院で訪問教育を行っています。病院に入院するお子さんは退院までの期間が短いため、PTAは主に、本校に通う自宅通学生の保護者を中心に活動を行っています。そのため、無理なく気軽に参加できることをモットーにPTA活動に取り組んでいます。

＜秋の味覚を楽しもう＞
～栗きんとんづくり～

本校には、みかん、かりん、栗と季節を感じられる果樹がたくさんあります。そこで、学校でとれた栗を使って「栗きんとんづくり」を企画し、PTA同士の親睦を図りました。栗の収穫やレシピづくり、下ごしらえ等は先生方にも協力をいただきました。当日は、ゆでた栗を半分に割りスプーンですくう、袋に入れて砂糖を混ぜてつぶす、ラップで茶巾絞りとシンプルな作業で栗きんとん作りを行いました。

参加者の皆さんの顔は真剣そのもの、まもなく大きな栗きんとんがたくさんできました。手作りの栗きんとんのおいしさに感動しながら会話も弾み、笑顔あふれる楽しい会となりました。



メール送信先 info@aichikoupren.org

＜PTA活動(プラ板ホルダー、しおりづくり)＞

自宅通学生や入院中の子供たちに、PTAから何かプレゼントしたいと、20年以上続いているのがプラ板づくりです。全校の子供たちが思い思いに描いたプラスチック板を集め、PTA活動日にプラスチック板を熱してホルダーを作って、一人一人にプレゼントしています。

本年度は、しおりづくりも新たに増やし、子供たちが好きな絵や言葉を書いたしおりに、ラミネートをかけてリボンを付けて仕上げました。入院中の子供たちも仕上がりを楽しみにしていて、作品にも工夫が見られました。

活動後は保護者同士で茶話会を行いました。部や学年を超えた交流を深めることができました。



講話＜地域とのつながりについて＞
実技＜バルーンアートづくりについて＞
講師：わかち・つむぎあい 松下 直美氏

講師には、障害のある方やその家族が相互交流を図り、心の健康の増進寄与することを目的に大府市を中心に活躍し、共和病院の副院長でもある NPO法人 わかち・つむぎあいの松下氏を迎え、ストレスの感じ方について、障害のある親の気持ちについてなど、分かりやすく共感できる話をしていただきました。

その後、バルーンアートでアンパンマンを作りました。短い時間で慌ただしかったものの、少しずつ表情の違うアンパンマンができました。「難しかったけど、楽しかった」という声がたくさん聞かれ、会話も弾みリフレッシュすることができました。



この他にも、保護者から毎年どんな研修会に興味があるかアンケートを取り、卒業生の話、SNSについてなど、魅力ある研修会を毎年企画しています。

無理なく、楽しく取り組むことを目標にこれからも続けていきたいと思ひます。